

使いやすいサイト・見やすいサイトってなんぞや

話す人 : Fine Lagusaz

自己紹介

○ フィーネ・ラグサズ

- Web サイトの運営歴は 6 年弱
- でも、勉強し始めたのはつい最近
- ロッシュの限界（中略）創者の憂鬱のゴーストマスター
- 風邪ひいて前回、参加できず。今回も風邪ひきました。

これから話すことについて

使いやすいサイトについて
ちょっと考えてみよう!

キーワードは「ユーザビリティ」

ユーザビリティとは何か？

元は製品などの使い勝手を示す言葉。
サイトだと目的の情報の見つけやすさ、障害の有無に関わらずに利用しやすいかと言った意味になる。

もう少し詳しく

実は定義がばらばら。

Web サイトの場合、「アクセシビリティ」の考え
も含んだりする。

アクセシビリティとは何か

"Web を利用するすべての人が、年齢や身体的制約、利用環境等に関係なく、Web で提供されている情報に問題なくアクセスし、コンテンツや機能を利用できること"

Web アクセシビリティとは？ / 基礎知識 infoaxia
<http://www.infoaxia.com/awareness/accessibility/index.html>

実際のところ

これら 2 つを切り分けて考えるのは難しい。

守るといいことあるのかな？

サイトが見やすくなると、ゴーストを広める助けになるかも。

具体的にどうすればいいのか

次のページから幾つか紹介。

” やってでもいいしやらなくてもいい ” 程度で。

サイトの目的を決めよう

サイトでどんな情報を伝えたいのか、といった目的を決めよう。

決めることでサイトのレイアウトを考えるのに役立つ。

例)
ゴーストの配布をしたい
小説を公開したい
絵を公開したい

スプラッシュページを控える

- スプラッシュページとはメニューや内容のあるトップページの前に置かれるページのこと。
- メニューやコンテンツにたどり着くまで、時間がかかってしまう。
- ユーザとしては自分が目的とするページに速くたどり着きたいので、ない方が望ましいでしょう。
- 使うなら効果的に！

小さな画面でも閲覧できるように

大きな画面を持つパソコンも増えてきたけど、今でも小さな画面のパソコンもある。

解像度が 800×600 でもメニューなどの重要な項目が見えると望ましい。

テーブルが大きくなってしまう時は小さなテーブルに分割すると良い。

リキッドレイアウトを使う

リキッドレイアウトはページの横幅を固定しないで、ブラウザのウィンドウの幅に応じて伸縮するレイアウトのこと。

ユーザの閲覧環境は色々で画面の大きさ、使っている字の大きさや書体も違う。

リキッドレイアウトなら、環境に応じて幅が変えられるので、ユーザにとって便利になる。

リンク箇所はわかりやすく

リンク、未読リンク、訪問済みリンクの色や装飾はわかりやすいように。
色の変化や下線などの文字修飾を使い分けるとわかりやすくなる。

リンクではない文字にリンクと同じ色や修飾を設定しないように。

ユーザにわかりやすい言葉で

難解な専門用語や省略語、頭文字は意味がわかりにくい。

また、サイトに対して、疎外感を持つようになる恐れも。

サイトの想定ユーザ層にあわせて、親しみやすくわかりやすい言葉で説明しよう。

大きなファイルへのリンクには情報を

Flash や PDF、NAR や ZIP などの HTML ファイル以外にリンクする場合、ファイルの種類を明記し、必要なプログラムがあれば一緒にリンクする。

ファイルサイズが 100KB を超える大きなファイルは回線が遅いと表示に時間がかかるので、あらかじめ警告する意味でファイルサイズも書くと親切。

10 秒でページが表示されるように

56k モデムで 10 秒待たずに表示されるかどうかを最低ラインの目安とされる。

軽いページを作ろうとする時の基準でいいかも。

画像や動画、Flash や Java アプレットの使いどころを考えて、実用目的が無い時は避ける。

レイアウトを統一する

ナビゲーションメニューや見出し、本文のレイアウトには統一性を持たせる。

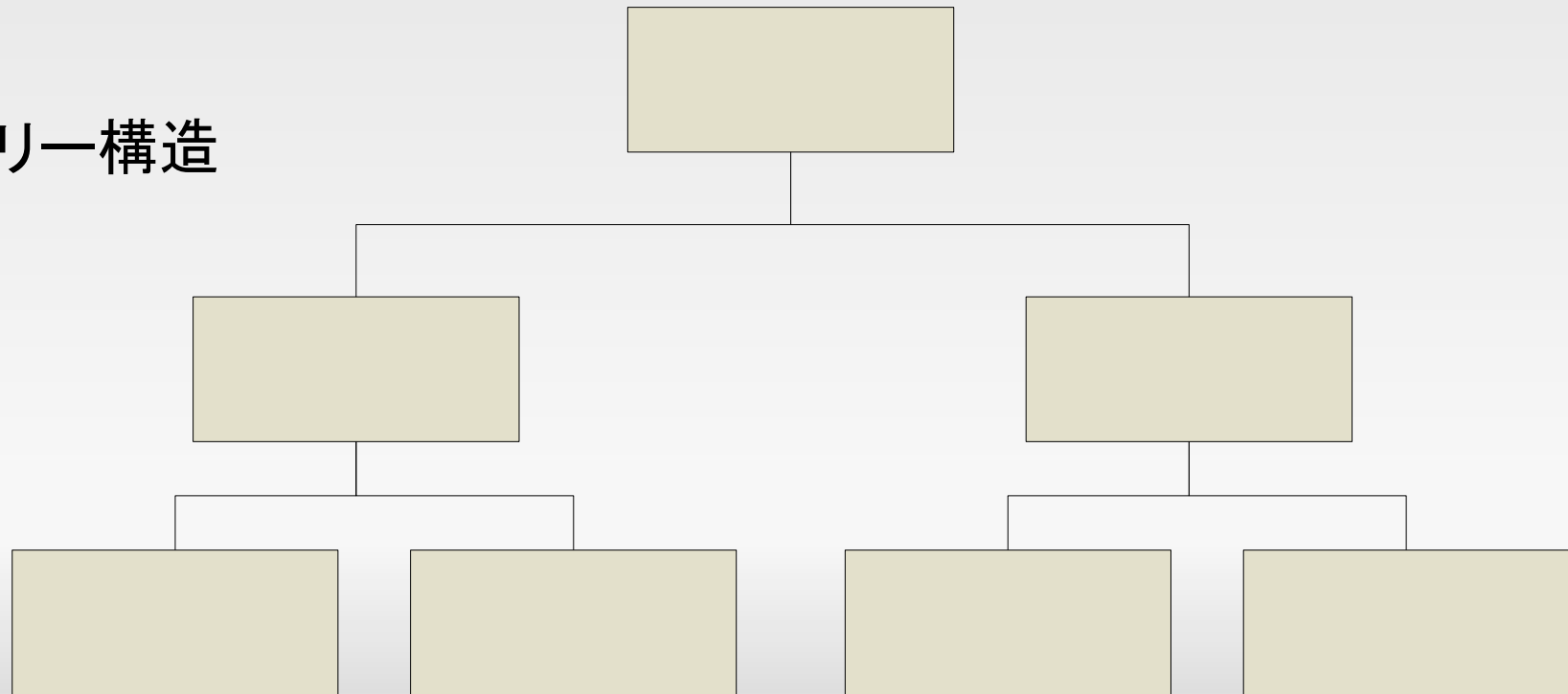
あるページで右にメニューがあって、あるページだと左、またあるページには下とばらばらだとユーザが混乱してしまうから。

ページの左上にロゴなどを入れると同じサイトだとわかりやすくなる

各ページのリンクの関係を簡潔に

上の階層にメニューや概要ページ。
下の階層になればなるほど、内容が詳しくなるようにする。

ツリー構造



十分なコントラストを持たせる

色覚障害のある人や高齢者、弱視の人にとって、色のコントラストの高いことが重要。
それ以外の閲覧者もコントラストが低いと読みにくくなる。

見やすい組み合わせには
白色の背景に黒色の文字

濃い青色の背景に薄い黄色の文字

などがある。

ユーザの現在位置がわかるように

Web サイトでは今、どこを閲覧しているかわかりにくく、階層が深いと迷子になってしまうかも。

トップページから現在のページまでを

トップページ > ゴースト配布ページ > キャラクター紹介

このように書いて、ページの上部や下部に入れるとわかりやすい。

重要な項目はページの上部に

ページの上部はとても目立つ場所。
ここに最も重要なリンクやナビゲーションメニューを配置
すると使いやすくなる。

ポイントはリンクの数を絞ること。
特に見てもらいたいページへのリンクのみを目立つよ
うに配置し、残りのリンクと区別すると効果的。

機種依存文字は使用しない

機種依存文字は名前の通り、表示できる機種が限られている文字。

異なる環境で表示させると、違う文字として表示されて、意味がわからなくなる。

丸付き文字、ローマ数字、単位記号に多く見られる。

サムネイルを使おう

サムネイルは小さな画像のこと。

サムネイルをクリックすると大きな画像になるようにするとサイトの表示速度が速くなる。

ギャラリーなど大きな画像の多いページではとても効果的。

完成してからページにリンクしよう

完成していないページをクリックして、戻る間のユーザの時間は無駄になってしまう。

サイトに対する評価も悪い方向に傾く可能性も。

掲載予定のサイトの予告は案内文のみを掲載して、ページができたらリンクする。

最後に

とりあげたのはほんの一部。
調べると他にも色々でてくる。

自分のサイトが見やすいかどうか考えるきっかけ
になれば幸い。

参考資料

ウェブ・ユーザビリティ & アクセシビリティ・ガイドライン
(石田 優子 著)

ユーザビリティ - Wikipedia
<http://ja.wikipedia.org/wiki/ユーザビリティ>

アクセシビリティ - Wikipedia
<http://ja.wikipedia.org/wiki/アクセシビリティ>

Infoaxia(インフォアクシア)
<http://www.infoaxia.com/index.html>